

どこでも写真管理 Plus⁺

どこでも写真管理 Plus (iOS 版) 操作手順書

(黒板作成・連携ツール、CIMPHONY Plus 使用時)

EX-TREND武蔵の写真管理、黒板作成・連携ツール、どこでも写真管理Plusでデータを連携して、電子小黒板機能付き工事写真を撮影する手順を解説します。

※解説内容がオプションプログラムの説明である場合があります。ご了承ください。

※CIMPHONY Plus 連携ツール：2022/2/24版で解説しています。

インストールするには、FCアカウントの個別ダウンロードを行ってください。

注意 使用時の注意点

下記を超えると、端末のメモリー等の仕様にもよりますが動作が不安定となる可能性がありますので、それ以下で運用することをお奨めします。

- (1) 黒板セットあたりの黒板数：50枚以下
- (2) 黒板セット数：20セット以下
- (3) 黒板総数：200枚以下
- (4) 撮影済み写真は200枚程度を最大として、随時PCへ保存

目次

どこでも写真管理Plus (iOS版)

操作手順 (黒板作成・連携ツール、CIMPHONY Plus使用時)

1. どこでも写真管理Plusの概要	1
1-1 どこでも写真管理Plusの動作の許可について	1
2. 写真管理で工種分類を作成する	2
2-1 工種分類を作成する	2
3. 黒板作成・連携ツールで黒板データを作成する	3
3-1 黒板作成・連携ツールを起動する	3
3-2 黒板を作成する	5
3-3 黒板の情報を設定する	7
3-4 豆図を設定する	8
4. 黒板データをどこでも写真管理Plusに転送する	10
4-1 転送先の工事データを作成する	10
4-2 CIMPHONY Plusを使って黒板データを転送する	11
5. どこでも写真管理Plusで写真を撮影する	14
5-1 CIMPHONY Plusで転送された黒板データを取り込む	14
5-2 電子小黒板付き写真を撮影する	16
6. 撮影した写真を写真管理に取り込む	20
6-1 CIMPHONY Plusを使って写真を取り込む	20

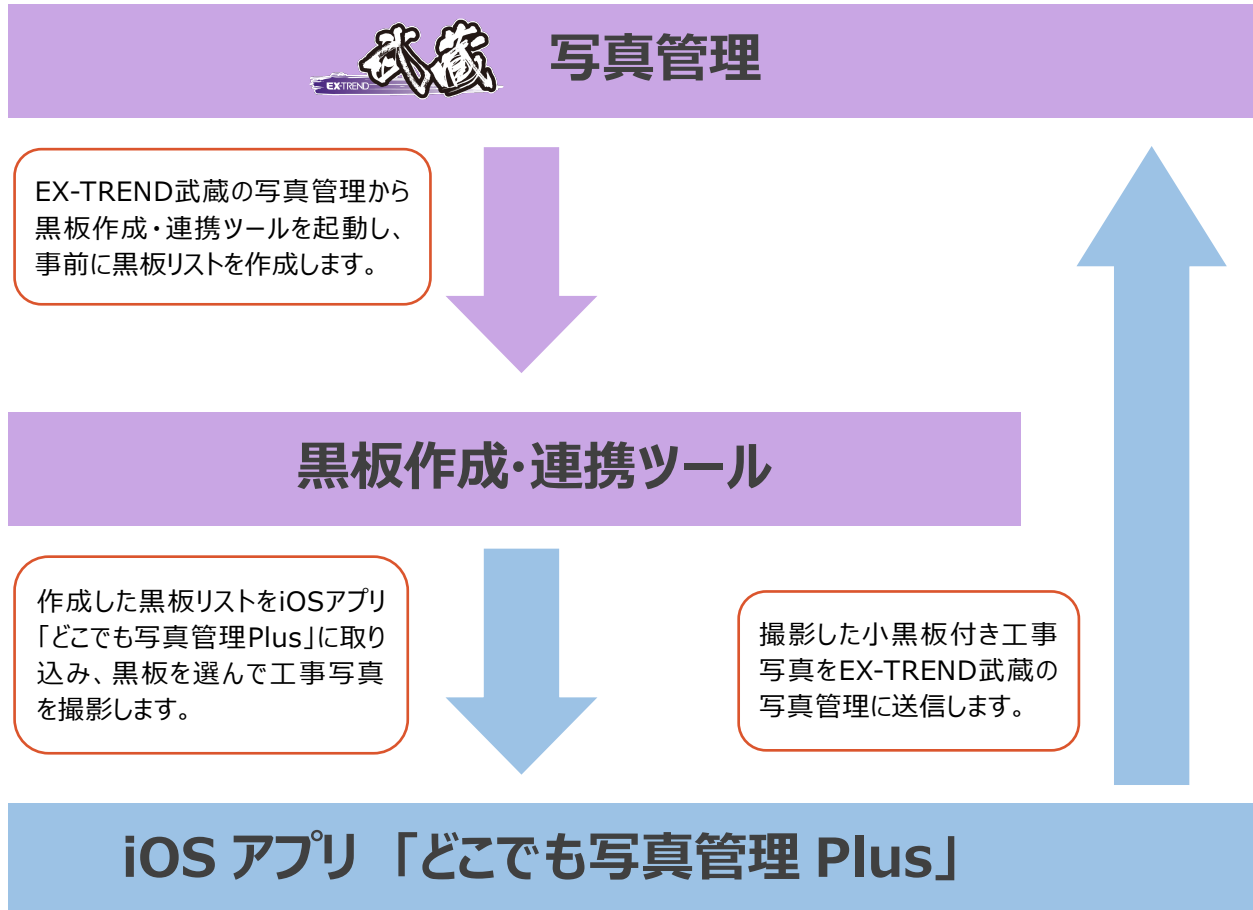
1

どこでも写真管理 Plus の概要

「どこでも写真管理Plus」とは、電子小黑板機能付き工事写真撮影アプリです。

本書では、EX-TREND武蔵の写真管理、黑板作成・連携ツール、iOSアプリ「どこでも写真管理Plus」の連携について説明します。

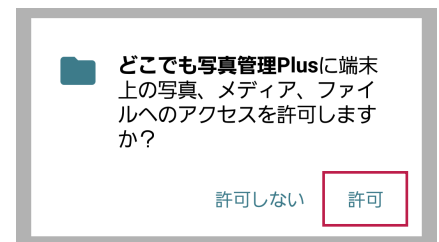
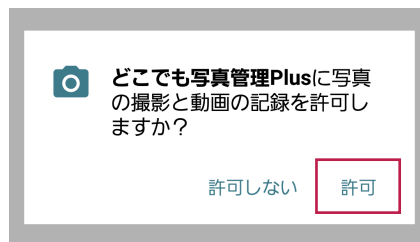
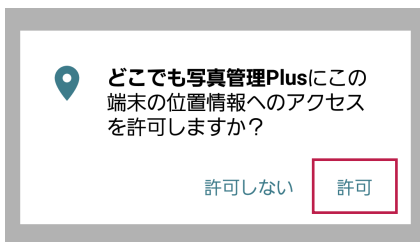
※CIMPHONY Plusを使用する場合は【CIMPHONY Plus】のご契約が別途必要になります。



1-1 どこでも写真管理Plusの動作の許可について

スマートフォンで「どこでも写真管理Plus」を起動した時に、各種動作の許可を求める画面が表示される場合があります。この画面では、すべて「許可」を選択します。

【画面例】



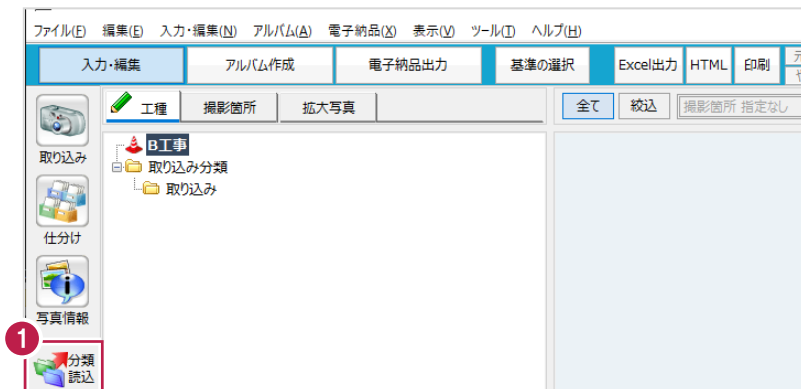
2

写真管理で工種分類を作成する

2-1 工種分類を作成する

EX-TREND武蔵の写真管理で使用する分類を用意しておきます。
ここでは、工事テンプレートから読み込む例で説明します。

① [分類読込] をクリックします。

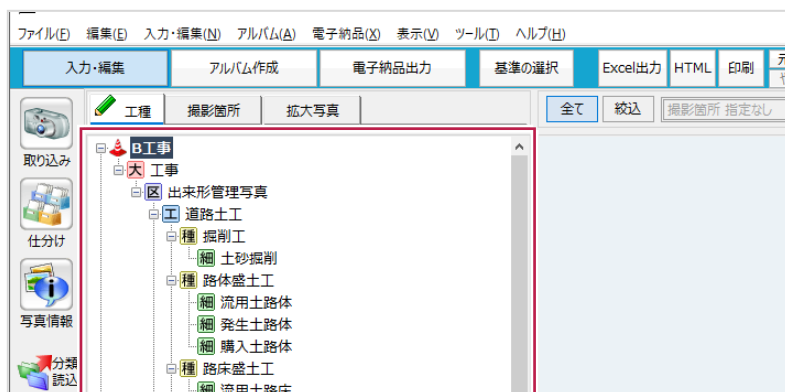
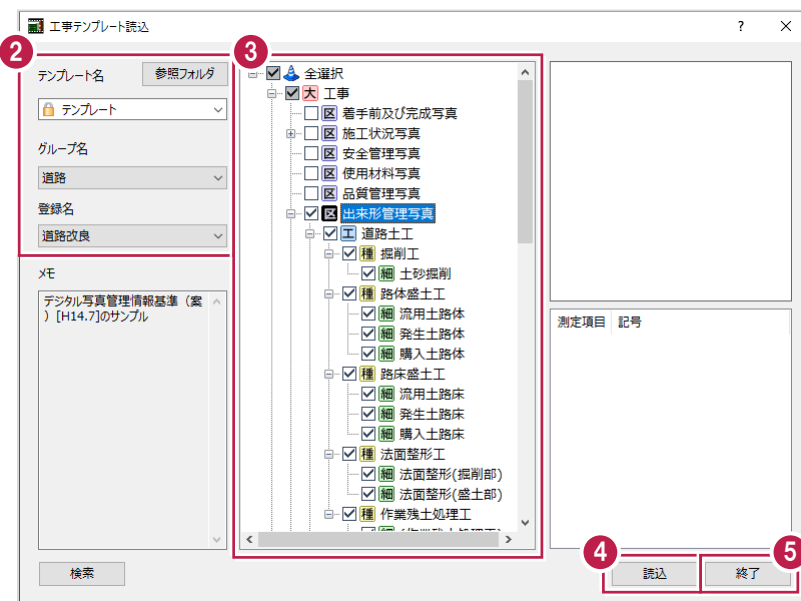


② [テンプレート名] [グループ名] [登録名] を選択します。

③ 読み込む分類をオンにします。

④ [読込] をクリックします。

⑤ [終了] をクリックします。
分類が読み込まれます。



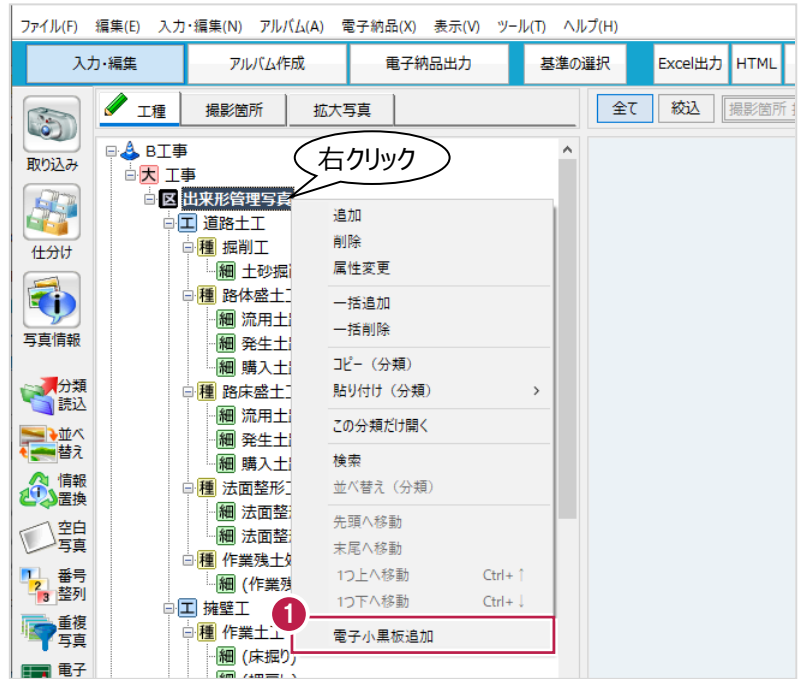
3

黒板作成・連携ツールで黒板データを作成する

3-1 黒板作成・連携ツールを起動する

写真管理から黒板作成・連携ツールを起動します。

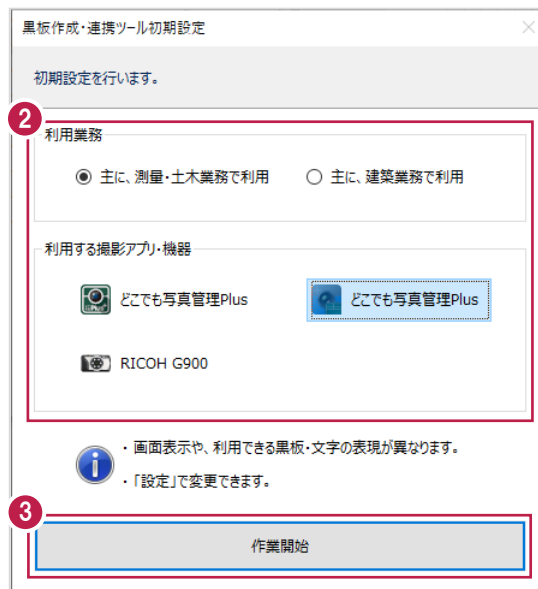
- 1 分類ツリーで右クリックして [電子小黒板追加] をクリックします。



- 2 黒板作成・連携ツールをインストール後に初回起動する際は、初期設定を行います。

利用する撮影アプリ・機器は
[どこでも写真管理 Plus] (右側) を選択
します。

- 3 [作業開始] をクリックします。



- 4 工事内で初回起動する際は、工事名、河川路線名、受注者名を確認して [OK] をクリックします。

黒板作成・連携ツールに工事データが作成され、メイン画面が開きます。

【工事名】：工事情報の [工事名称] が反映されます。

【河川路線名】：工事情報の [河川路線名等] が反映されます。

【受注者名】：工事情報の [受注者名] が反映されます。

各項目は黒板の「工事名」「河川路線名」「受注者名」に連動します。

新規作成

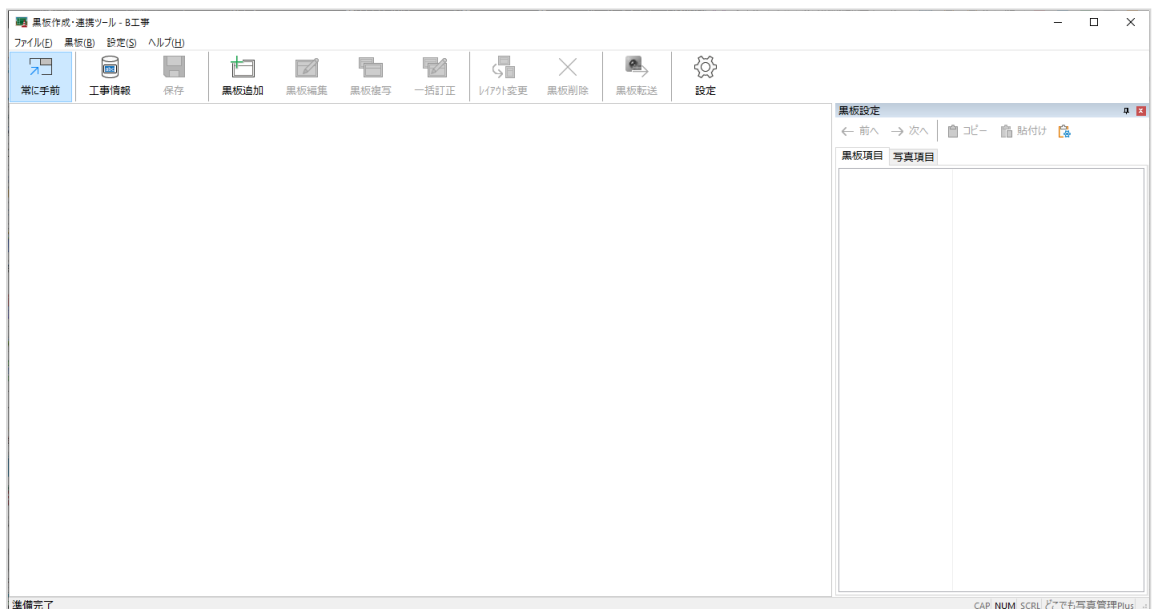
新しく工事データを作成し、作業を開始します。

工事名 B工事

河川路線名 B路線

受注者名 ××建設

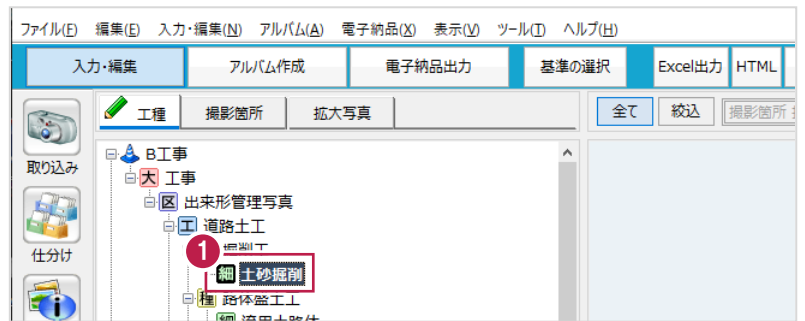
4 OK キャンセル



3-2 黒板を作成する

写真管理の分類や撮影箇所を利用して、黒板を作成します。

① 写真管理で分類を選択します。



② 黒板作成・連携ツールで [黒板追加] をクリックします。



③ 追加方法、追加黒板数を設定します。

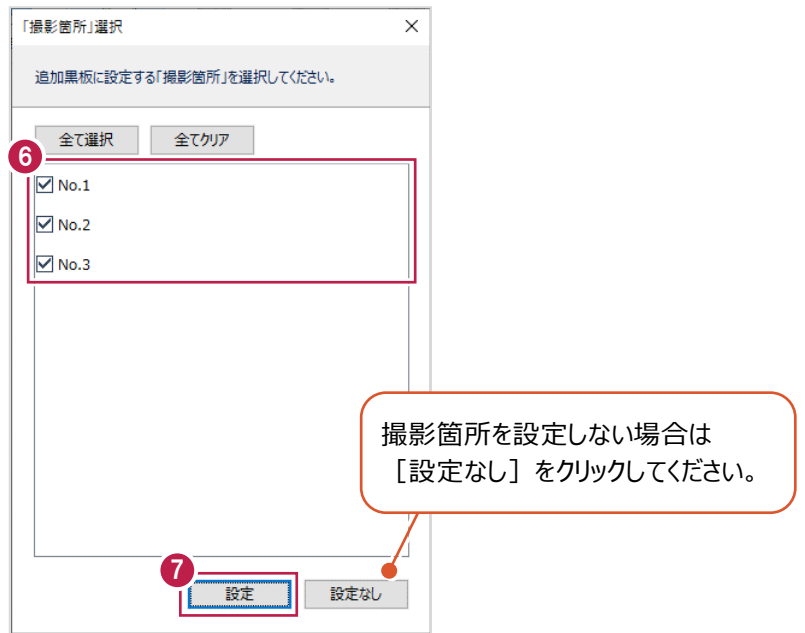
④ 黒板レイアウトを選択します。

⑤ [OK] をクリックします。



⑥ 写真管理に撮影箇所が登録されている場合は、黒板に撮影箇所を設定することができます。設定する撮影箇所をオンにします。

⑦ [設定] をクリックします。黒板が追加されます。



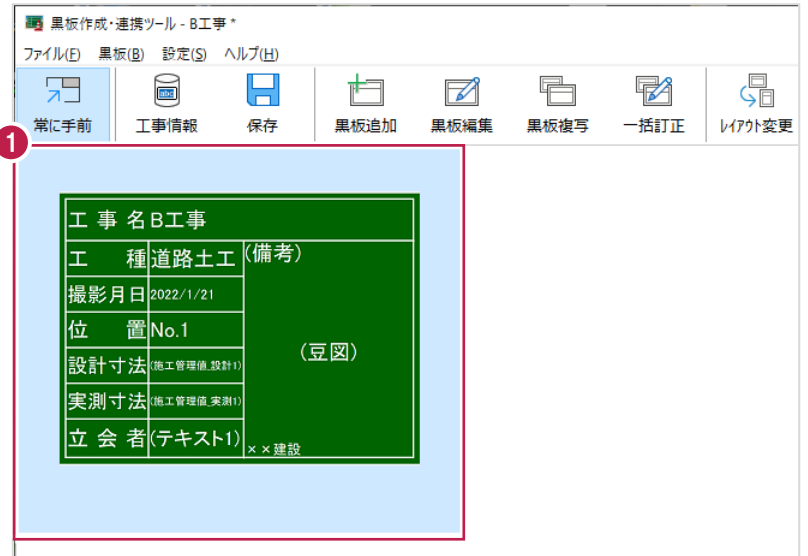
黒板が存在する分類には黒板マーク [黒板マーク] が表示されます。

選択した分類の黒板が表示されます。黒板には分類と撮影箇所が反映されます。

3-3 黒板の情報を設定する

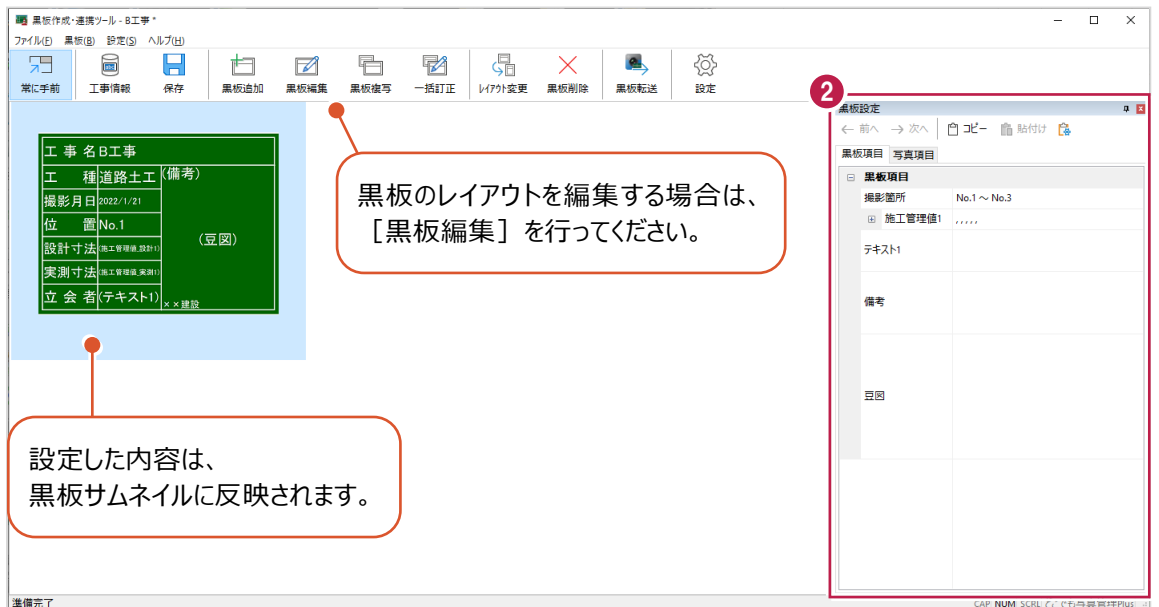
黒板の情報を設定します。

1 黒板を選択します。



2 メイン画面右側の [黒板設定] で黒板の情報を設定します。

(詳細は黒板作成・連携ツールのヘルプを参照してください。)



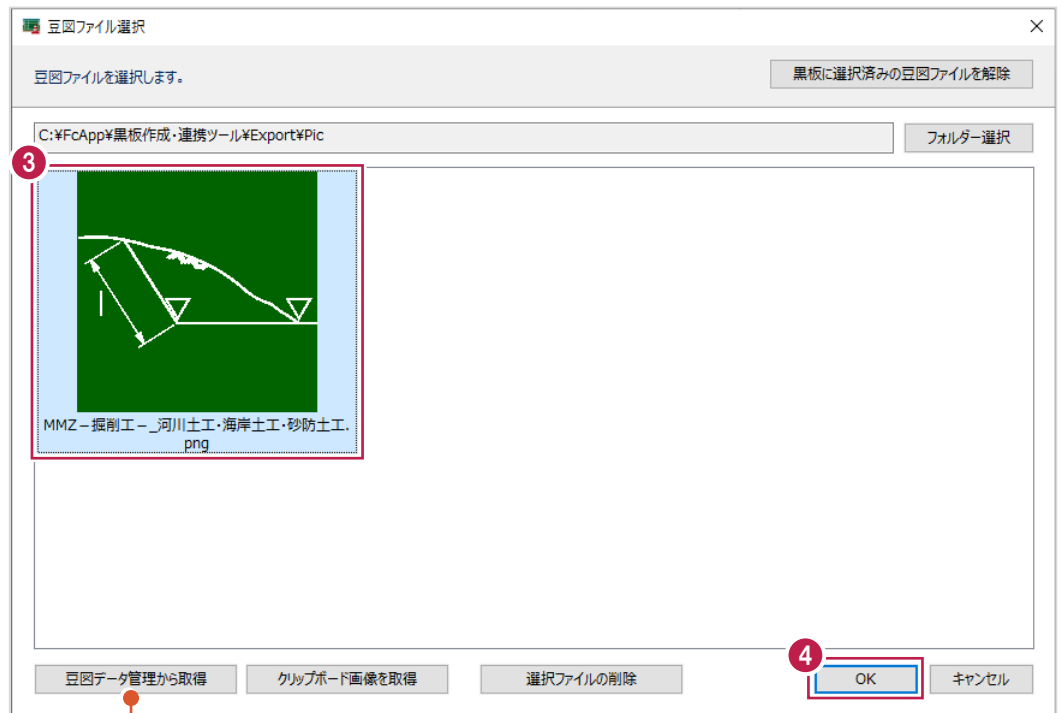
3-4 豆図を設定する

必要に応じて豆図を設定します。

- 1 [黑板設定] で [豆図] の項目をクリックします。
- 2 [...] をクリックします。



- 3 豆図を選択します。
- 4 [OK] をクリックします。



一覧に何も登録されていない場合は、
[豆図データ管理から取得] から
[豆図データ管理] を起動して豆図を
取得してください。
[豆図データ管理] での操作については、
EX-TREND武蔵のヘルプ「豆図データ
管理ウィンドウ」を参照してください。

黑板作成・連携ツール - B工事*

ファイル(F) 黑板(B) 設定(S) ヘルプ(H)

常に手前 工事情報 保存 黑板追加 黑板編集 黑板複製

工事名	B工事
工種	道路土工(備考)
撮影月日	2022/1/21
位置	No.1
設計寸法	(施工管理値_設計1)
実測寸法	(施工管理値_実測1)
立会者(テキスト1)	××建設

豆図が設定されます。

黑板設定

← 前へ → 次へ | 白 コピー 貼付け

黑板項目 写真項目

黑板項目

撮影箇所	No.1 ~ No.3
施工管理値1
テキスト1	
備考	

豆図

4

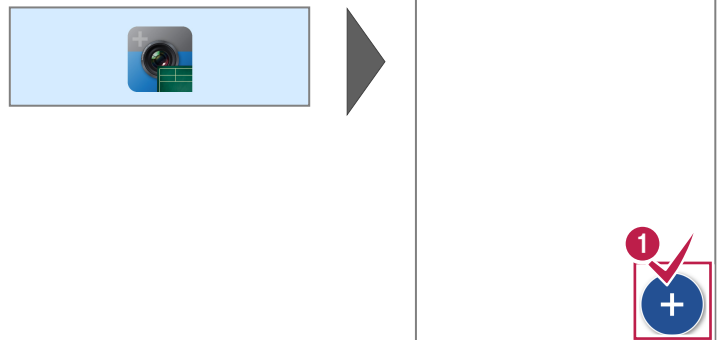
黒板データをどこでも写真管理 Plus に転送する

必要な黒板データを作成したら、黒板データをiOSアプリ「どこでも写真管理Plus」に転送します。

4-1 転送先の工事データを作成する

あらかじめスマートフォンの「どこでも写真管理Plus」で、黒板データの転送先となる工事データを作成しておきます。

- 1 スマートフォンで、どこでも写真管理 Plus を起動し、[工事新規作成]（+マーク）をタップします。



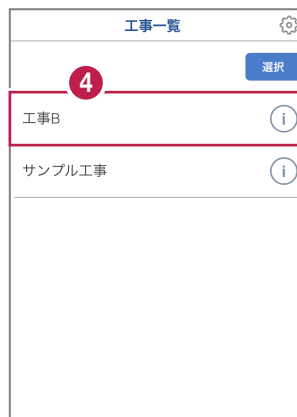
- 2 [工事名称] など工事の情報を入力します。

- 3 入力を終わったら、[工事一覧] をタップします。



- 4 工事一覧に戻ります。

黒板データの転送先の工事が作成されていることを確認します。

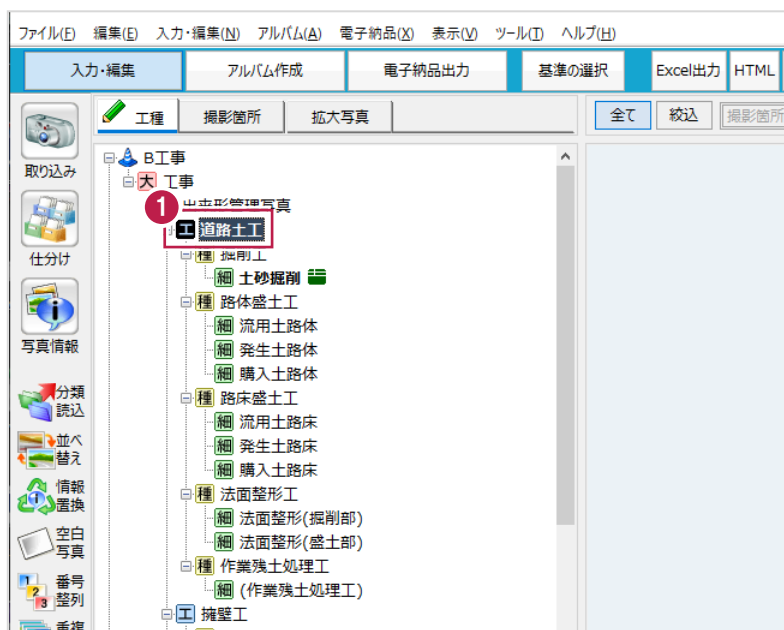
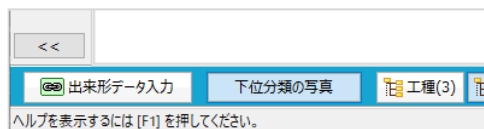


4-2 CIMPHONY Plusを使って黒板データを転送する

CIMPHONY Plusを利用して、インターネット経由でPCの黒板データをスマートフォンの「どこでも写真管理Plus」に転送します。

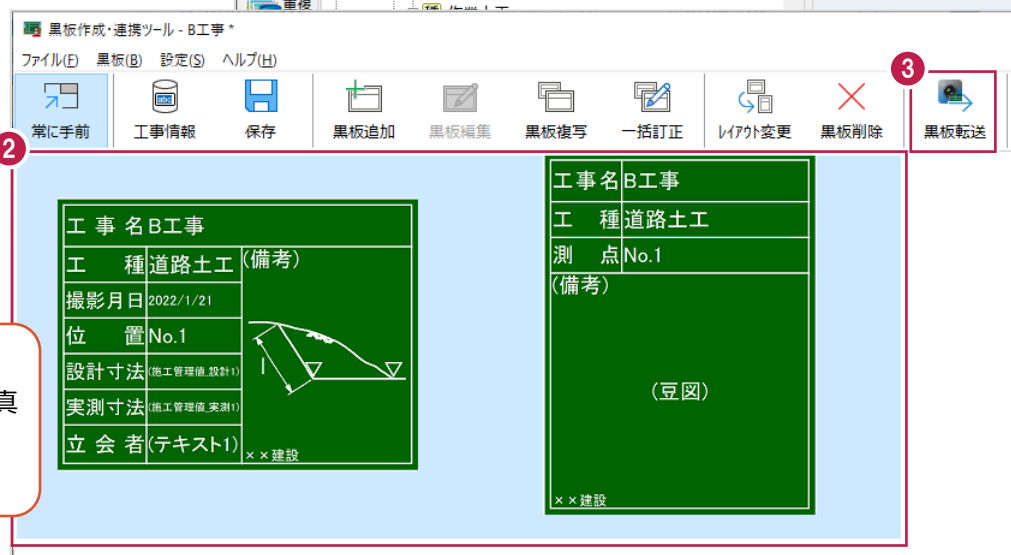
1 写真管理で分類を選択します。

下位分類の黒板をまとめて転送する場合は、
「下位分類の写真」をオンにして黒板を
表示してください。



2 黒板を選択します。

※ctrl キーで複数選択して
転送することもできます。



3 「黒板転送」をクリック します。

「設定」の「利用する撮影
アプリ・機器」は「どこでも写真
管理Plus」（右側）を選択
して操作してください。

4 接続先は「CIMPHONY Plus」を選択 します。

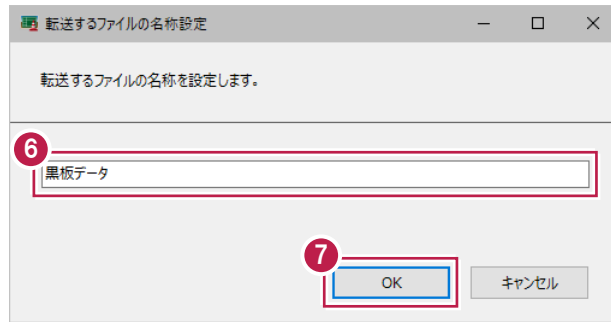
5 「OK」をクリックします。



6 転送するファイルの名称を入力します。

7 [OK] をクリックします。

CIMPHONY Plus 連携ツールが起動します。



8 メールアドレスとパスワードを入力します。

9 [ログイン] をクリックします。

※ログイン後、1ヶ月間は認証情報が保存されます。

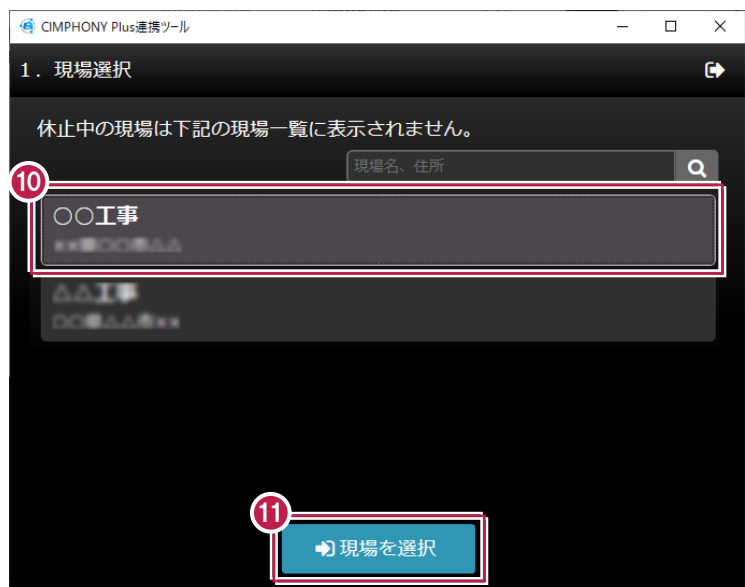


10 現場を選択します。

11 [現場を選択] をクリックします。

※CIMPHONY Plus であらかじめ現場を作成しておいてください。

※工期終了した現場にデータをアップロードすることはできません。

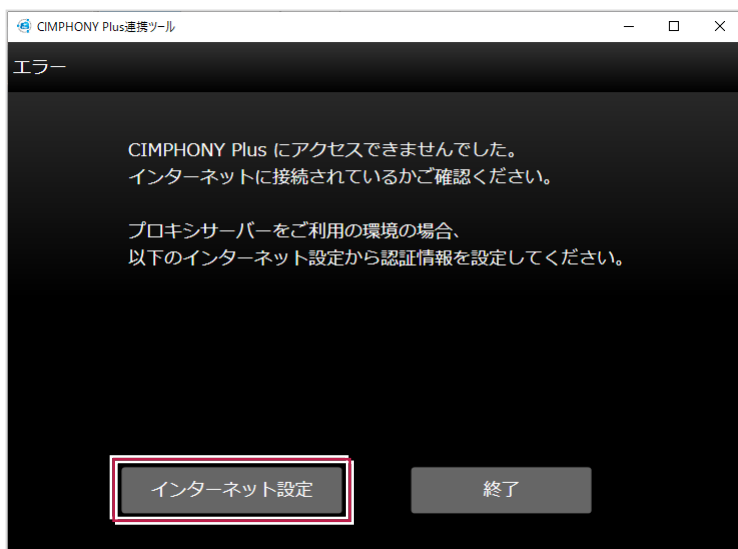


- 12 [終了] をクリックします。
ファイルが転送されます。



補足 プロキシサーバー環境の場合

プロキシサーバー環境の場合は、インターネット設定で認証情報を設定してください。



[サーバーを手動で設定する] を
選択した場合は、認証情報を入
力してください。

5

どこでも写真管理 Plus で写真を撮影する

iOSアプリ「どこでも写真管理Plus」で、黒板作成・連携ツールから転送した黒板を使用して工事写真を撮影します。

5-1 CIMPAPHONY Plusで転送された黒板データを取り込む

① スマートフォンで、どこでも写真管理 Plus を起動して、工事を選択します。

② [クラウド] のアイコンをタップします。



③ [CIMPAPHONY Plus を使用] を選択します。

④ [写真管理の分類・豆図・黒板のダウンロード] の [ダウンロード開始] をタップします。

ブラウザ（ここでは Google Chrome）で開きます。



⑤ CIMPAPHONY Plus のログイン画面が開きます。

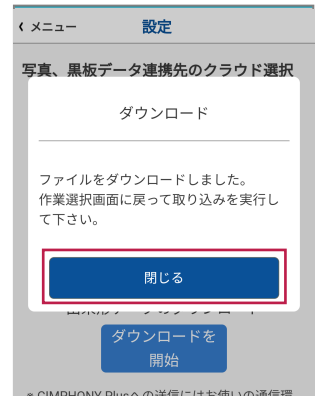
[メールアドレス] と [パスワード] を入力し、[ログイン] をクリックします。



- ⑥ 黒板データを転送した CIMPHONY Plus の現場をタップします。

※工期終了した現場は表示されません。

ダウンロードが終了したら、[閉じる] をタップします。



補足 待機状態が長く続く場合

回線などの問題でダウンロードが完了しない場合は、一旦 [メニュー] をタップして戻り、再度 [設定] の [写真管理の分類・豆図・黒板のダウンロード] の [ダウンロードを開始] をタップしてください。

- ⑦ [メニュー] をタップします。

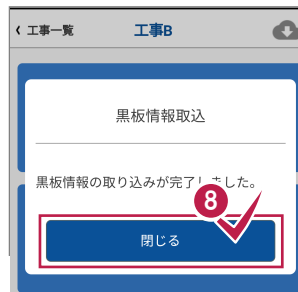
黒板作成・連携ツールから黒板データが転送された場合は、「黒板情報ファイルが見つかりました。～」と表示されます。

[OK] をタップします。



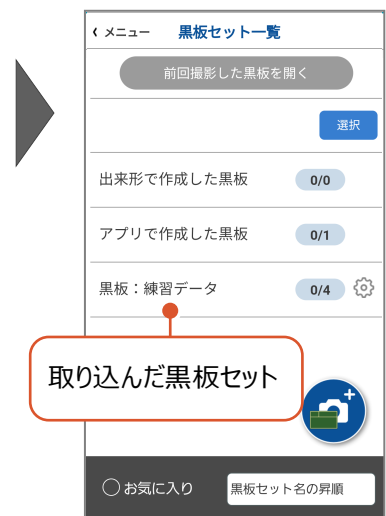
- ⑧ 黒板データが取り込まれると確認のメッセージが表示されますので [閉じる] タップします。

[写真撮影] をタップすると、取り込んだ黒板データが表示されます。



補足 黒板が表示されない場合は

画面下の「お気に入り」がオンになっていると取り込んだ黒板が表示されない場合があります。「お気に入り」をタップしてオフにすると、すべての黒板が表示されます。



5-2 電子小黑板付き写真を撮影する

- ① 使用する黒板が格納された黒板セットをタップします。

格納されている黒板が一覧表示されます。



- ② 撮影で使用する黒板をタップします。

黒板情報が表示されます。



- ③ [黒板情報] タブと [写真情報] タブをタップして、黒板情報と写真情報をそれぞれ確認します。

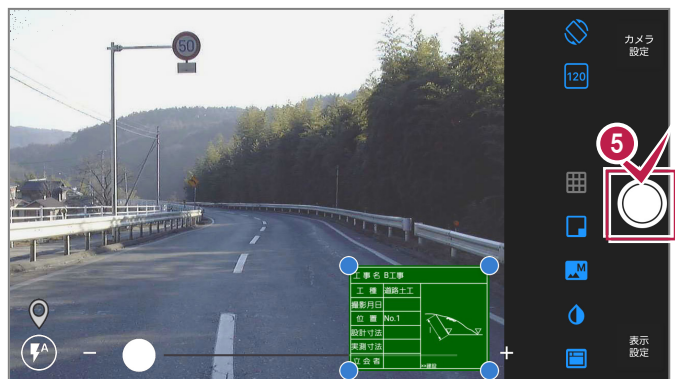
現場で入力する項目がある場合は、ここで入力します。



- 4 写真を撮影します。[黒板情報] タブの [撮影] (カメラマーク) をタップします。カメラが表示されます。



- 5 黒板の位置はドラッグして移動できます。黒板のサイズは黒板の四隅の「○」をドラッグして変更できます。黒板の位置とサイズが決まったら、[撮影] ボタン (◎) をタップして写真を撮影します。



- 6 撮影を終えたら、撮影画面左上の [戻る] ボタンで黒板情報画面に戻ります。



- 7 撮影写真をタップして確認します。
撮影した写真が拡大表示されます。



- 8 [情報] (iマーク) をタップします。
撮影した写真に関する情報が表示されるので、確認します。



- 9 確認を終えたら、左上の [黑板报情報] [黑板报一覧] とタップして、黑板报一覧まで戻ります。
撮影を続ける場合は 2 からの手順（黑板报選択→写真撮影）を繰り返して写真を撮影します。

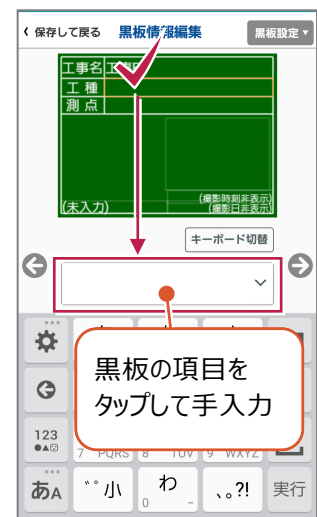
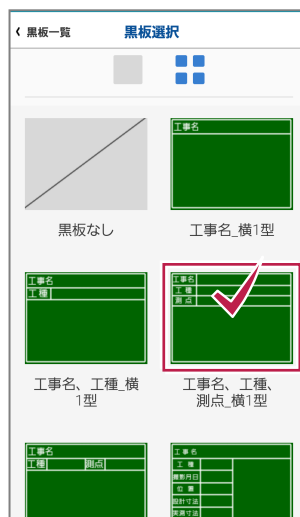


補足 現場で黒板を作成するときは

現場で黒板を新規作成する場合は、「黒板セット一覧」または「黒板一覧」画面に表示される「黒板追加」ボタンをタップします。



どこでも写真管理Plusに内蔵されている黒板が表示されますので、使用する黒板を選択し、黒板の内容を手入力して作成します。



作成した黒板は、黒板セットの「アプリで作成した黒板」に格納されるので、写真を撮影するときはここから黒板を選択して撮影します。



6

撮影した写真を写真管理に取り込む

撮影した写真を、EX-TREND武蔵の写真管理に取り込みます。

6-1 CIMPHONY Plusを使って写真を取り込む

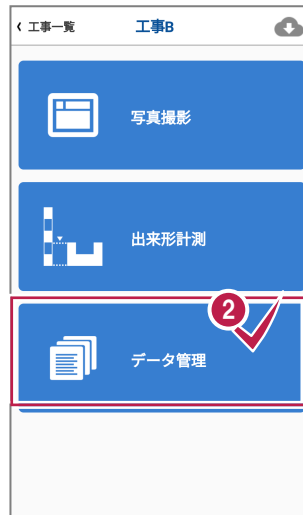
CIMPHONY Plusを利用して、インターネット経由でEX-TREND武蔵の写真管理に写真を取り込みます。

まず、スマートフォンの「どこでも写真管理 Plus」で、写真を CIMPHONY Plus に送信します。

① どこでも写真管理 Plus で、写真を撮影した工事をタップして開きます。



② [データ管理] をタップします。



③ 写真一覧が表示されます。
[全選択] をタップします。



④ [全選択] をタップします。



⑤ 送信される写真にチェックマークが表示されます。
[CIMPHONY Plusへ送信] をタップします。



⑥ [OK] をタップします。



補足 【SnapChamberへ送信】と表示されている場合

メニューに戻って、[クラウド] のアイコンをタップし、
[CIMPHONY Plusを使用] を選択してください。



送信される
写真

- 7 写真を取り込む CIMPHONY Plus の現場を選択します。
 ※工期終了した現場は表示されません。
 同期完了後、[閉じる] をタップします。



- 8 写真が「CIMPHONY Plus 送信済」になります。

補足 転送が失敗する場合

回線の状態により、転送が失敗する場合があります。その場合は、転送する写真の枚数を減らして、再度転送をおこなってください。

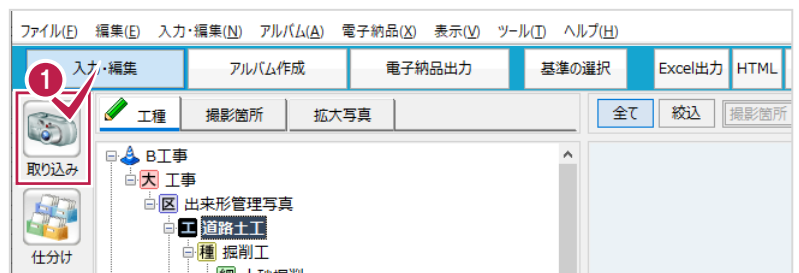
補足 同名のファイルを登録済みの場合

CIMPHONY Plusに同名のファイルが存在する場合、ファイル名末尾に連番が付記されます。
 例) 「ファイル名-(1).jpg」
 ※自動リネームによりファイル名が100文字を超える場合はファイル登録されません。



次に、EX-TREND 武蔵の写真管理で CIMPHONY Plus から写真を取り込みます。

- 1 EX-TREND 武蔵の写真管理で、[取り込み] をクリックします。



2 [どこ写 Plus] をクリックします。

3 [OK] をクリックします。



4 接続先は [CIMPHONY Plus] を選択します。

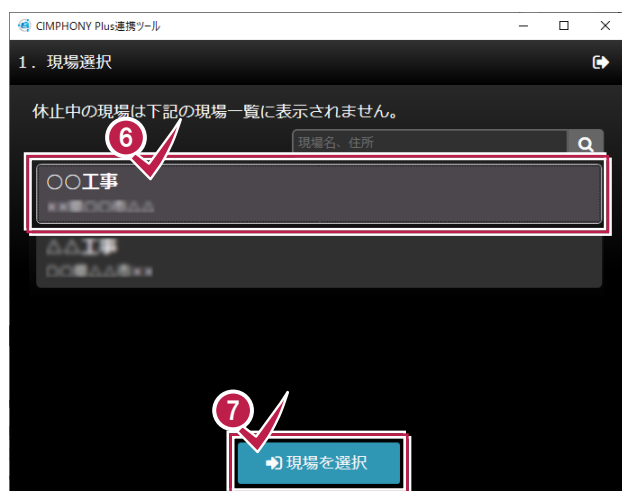
5 [OK] をクリックします。



6 CIMPHONY Plus 内の工事の一覧が表示されます。

写真を取り込む工事を選択します。

7 [現場を選択] をクリックします。



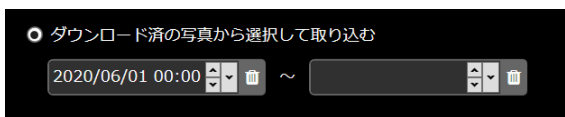
8 [ダウンロード条件] を選択します。

9 [ダウンロード] をクリックします。

● [まだダウンロードしていない写真] を選択すると、CIMPAPHONY Plusから一度もダウンロードされたことのない写真のみ取り込みます。

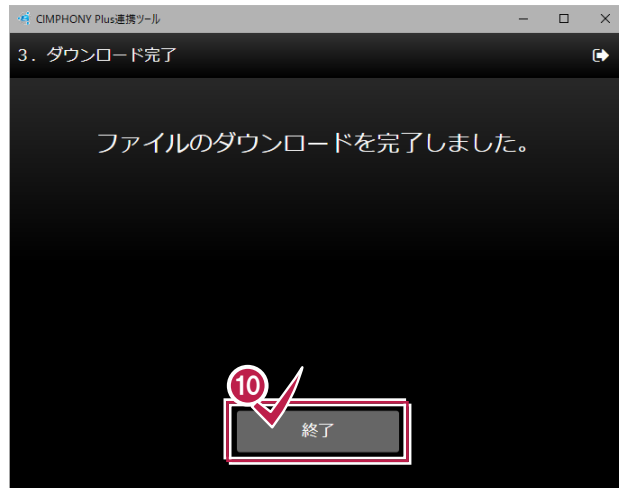
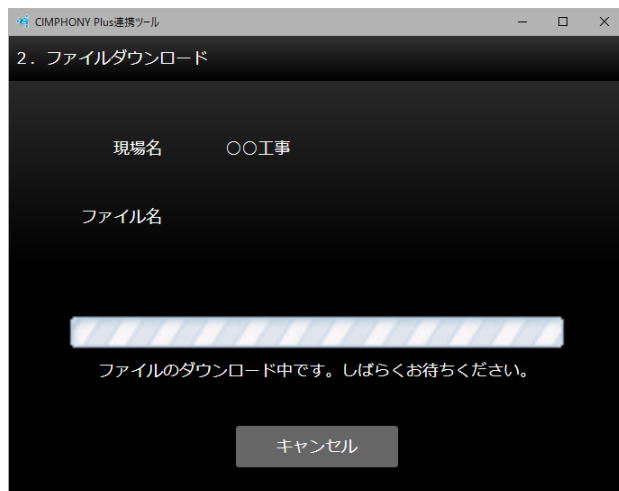
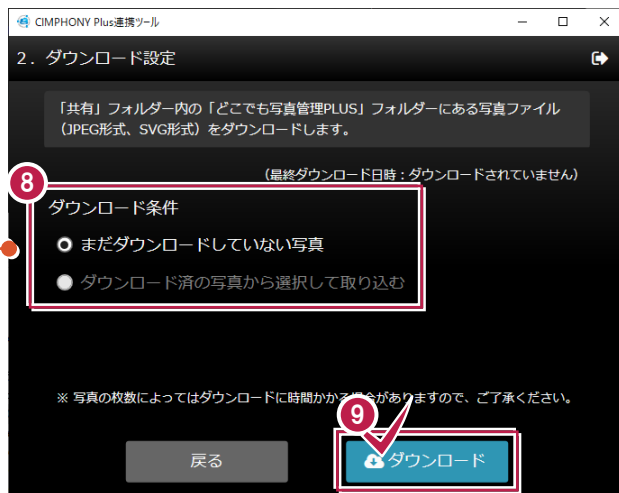
(CIMPAPHONY Plusのユーザーが一度でもダウンロードした写真は「ダウンロード済み」として扱われます。)

● [ダウンロード済の写真から選択して取り込む] を選択すると、撮影期間を指定して過去にダウンロードした写真の中から選択して取り込むことができます。誤って削除した写真を再度取り込みたい場合や、他のユーザーがダウンロード済みの写真を取り込みたい場合などに使用してください。



※写真の上にマウスを移動すると、ファイル情報が確認できます。

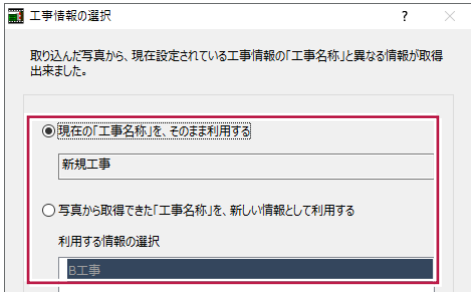
10 ダウンロード完了後、[終了] をクリックします。



- 11 取り込み完了のメッセージが表示されるので、
[OK] をクリックします。

補足 工事情報の選択

写真管理とどこでも写真管理Plusの「工事名称」や「受注者名」が異なる場合はダイアログが表示されます。どちらを利用するか選択してください。



- 12 写真が取り込まれます。

以上で写真の取り込みは完了です。

